

令和元年度 第2回浦安市男女共同参画推進会議 議事要旨

1. 開催日時 令和2年2月13日(木) 午後6時～午後8時
2. 開催場所 浦安市役所10階 協働会議室
3. 出席者
(委員)
寺村会長、菅宮副会長 津矢田委員、小澤委員、糸委員、芦田委員、岸本委員
塩谷委員、荻野委員、亀山委員、藤森委員、國井委員
(事務局)
企画部次長、企画部男女共同参画センター所長、副主査、主任主事
4. 議事次第
 1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 議題
 - (1) 「改訂第2次うらやす男女共同参画プラン」
平成30年度庁内基本事業調査結果について
 - (2) 令和元年度男女共同参画センター事業結果について
5. 事務連絡

<配布資料>

- ・資料1 平成30年度庁内基本事業調査について
- ・資料2 目標値
- ・資料3 令和元年度男女共同参画センター事業結果について

情報紙P-life vol.20

DV相談支援カード

6. 議事概要

○議題

- ・事務局により、「改訂第2次うらやす男女共同参画プラン」平成30年度庁内基本事業調査結果について説明が行われた。

(主な意見等)

- 会 長 ただいま事務局から、「改訂第2次うらやす男女共同参画プラン」平成30年度庁内基本事業調査結果について説明があった。このことについて何か質問、ご意見等はあるか。
- 委 員 内容が非常に広範囲で、客観的で何にしぼって考えていけばいいのか。今回の調査は庁内事業の進捗についてのチェックということだが、委員として第三者的な考え方でいいのか。
- 会 長 議論をする部分が幅広いので、少し区切っていく形ではどうか。8つの項目について目標が未達成ということだが。
- 事務局 プランの評価について事業の進捗を図るということでみていただいている。どの部分についてご意見をいただくのは難しいが、実際に進捗状況を管理していく上で、目標値を項目ごとに挙げたもので、ご指摘いただいてもよいのかと思っている。
- 委 員 今後もこのような形で会を進めるということか。
- 事務局 今までそのような視点でご意見をいただいた。来年度からは第3次プランを策定していくことになっていくので、成果の進捗状況を見ながらもう少し改善してわかりやすくしたほうがよいとか、取り組みの状況をこういう風にしたほうが進捗としてはよいとか、事業を進めていくうえでの取り組み方法とか。いろいろな視点でご意見をいただきたいと思っている。
- 委 員 「十分達成している」「ほぼ達成している」「一部課題が残る」のどれかに丸がついているが、この基準がわかりにくい。5ページの、男女共同参画社会の実現に関する理解の促進というところで、男女共同参画センターはこれだけやっているのだから、十分達成しているのではないかと思うが、「ほぼ達成」に丸がついている。人事課を見ると、同じようなことをやっていて「十分達成している」に丸がついている。自己評価なのでそれなりの視点があるのかと思うが、例えば、30年度男女共同参画推進講座は50人を目標にしたが、33人しか来なかったのも、「ほぼ達成」となるとわかりやすい。各課によって自己評価の基準がよくわからない。8ページのワーク・ライフ・バランスの推進については、商工観光課は全部「十分達成」とあるが、数値の成果が全く上がっていない。人事課を見ると、取り組みの内容以上に細かい実施結果が記載されているのに

「ほぼ達成だけどまだ十分じゃない」に丸がついている。これをもって委員がどう評価するのかというのが少しわかりにくい印象を受ける。

会 長 事務局から何かないか。

事務局 たとえば実施結果の中で、男女共同参画センターも実際に講座を幾つ実施しており、一つ一つの取り組みをみると定員 20 名について参加者は何名だったという数字も出ている。実際には内容と参加者というところで、もう少し頑張っていかなくてはいけないのではないかということからの評価であった。各課において評価の仕方に温度差があるので、今後はもう少し、評価をしていく中で見直しも考えていきながら行いたい。

会 長 今回は自由な意見をということでお願いしたい。

委 員 8 ページの男性の育児休暇について、低いということであったが、職場内で男性がとるという雰囲気が出ていないのではないか。やはり男性はとりにくいか、次に影響があるのではないかとか、そういう部分があって、なかなか数値目標が上がらないのではないか。目標値のこの内容は全部男女共同参画センターでやっているのか。

事務局 センターでやっている。

委 員 項目も考えているのか。

事務局 ひとつひとつの項目については委員のみなさんからご意見もいただきながら作っている。

委 員 庁内の担当課は知っているのか。

事務局 庁内の検討委員会からも意見いただいている。

委 員 項目についてはどうか。

事務局 項目についても、庁内の検討委員会から意見をいただいている。

委 員 昨日、「ダイバシティ」の研修に行ってきた。研修の内容で一部の人が作ったも

のではだめだと、なかなか他に伝わらないと言っていた。行政でも、一部の担当課がいろいろ考えるが、他の課には伝わらない。一生懸命やっているつもりでもだめだというようなことを話していた。男性が育児休業を取る雰囲気が出てくるのかどうか。できていないのにいくらとれと言っても難しい。次に18ページを確認したい。今までは歯科検診も行っていたが、検診では治療はできない。別の歯科の治療でかかっているから今回やめようかと思っていたが、やめると担当課は困るということが分かった。

会 長 資料2について6番が非常に目標値の値が低い、この計算方法の基準があるとよいと思うが。

委 員 13%というのは国が考えている基準なのか。

事務局 初めて作る時には国・県を基準にしながら設定した。この目標値は第2次プランを策定した時に数値化が可能でかつ定期的に計ることができる項目に対して目標値を設定した。5年後の改訂第2次プランの時には、どれだけ進んだかということで、目標値の設定をした。今後第3次プランの策定にあっては、取り組み事業に対して活動指数などを設けながら、目標値は設定したほうがよいのではないかと考えている。

委 員 原因というのは検証しているのか。なぜ浦安市で育児休業を一人しかとらなかったのか、職場に取りにくい雰囲気があるのか、あるいは上司が熱心ではないのか、市役所全体としてあまり取り組んでいこうという機運がないのか。

事務局 男性の育児休業については女性活躍推進法ができたときに特定事業主行動計画で定めているが、人事課も数値目標を定めている。男性がとりやすいよう周知しているという話を聞いている。なかなかそれでも少ないのが現状である。

委 員 1日でも2日でも育児休業がとればよいと思うが、それでも取らないのか。

事務局 育児休業というのはたしか2週間以上だったのではないかと思う。分娩による特別休暇というのは1週間程度で、1日、2日でもとることができるかと。市としては、育児休業を男性が取りやすいようにということで周知はしている。さきほどご指摘があったが、やはりなぜ取ってくれないかというところの検証ができていないかと。例えばみなさんからのご意見で検証をしたほうがいい、アンケートをとったほうがいい、というご指摘をいただくと、次の計画の目標を立てるとき

に反映させていただけるようにと考えている。

委 員 資料2の1ページの図をみているが、これは分娩する女性の夫が全員この休暇をとったということで100%の数字である。分娩の時はとっているが、あとはとらない。さらに目標値を13%にして大丈夫なのか。

事務局 育児休業については、職員は有給休暇を使ったりとか、育休を取ると給料が減るとか、その辺の兼ね合いがいろいろあるのではないかと。なかなか男性が仕事を休んでというところまでいかないというのが現状のところである。

委 員 近隣市でも同じような調査をやっているのか。

事務局 この計画の進捗状況というのは、他市町村でも行っている。

委 員 公開されているのか。

事務局 公開されている。内容的なものについては各市それぞれである。

委 員 自己評価もみんな同じ基準に基づいて評価しないと。同じようなことでも、自分でそれぞれの評価をするとまちまちになる。他市でも同じようなやり方をやっているのかどうか。

事務局 評価の仕方というのも以前の評価の仕方からもう少しわかりやすくしようということで改正したものである。前は評価の仕方もこのような担当課評価のところも十分達成しているではなく、A、B表記だった。実際に担当課がやる内容についても、このことについてはできたけど、このことについてはできなかったというものがあつた。実施結果として記載して全体の評価をする形で2年前くらいから変えてきたところであるが、ご意見をいただき、考えていきたいと思っている。

委 員 担当課が目標に向かって努力してもらえればいい。

委 員 個人的にわかりにくかったところが、パンフレットを設置して啓発と情報提供を行いましたという内容で十分に丸がある。どのくらい部数をおいたのか、例えば3年間の事業の中で何年度はどのくらいというのが具体的にわかるとより理解しやすい。情報の載せ方がばらばらかなと思う。もう少し情報がたくさん

あるとありがたい。

委員 休みをとったあと、仕事はどうなるのかということが気になっている。その安心感がないと休みを取りづらいのは当然だろう。

委員 14 ページの介護保険課、障がい福祉課、高齢者福祉課連携をとって名簿は年 1 回、民生委員や自主防災組織へ提供していると書かれている。名簿を渡したらそれでいいのか。名簿は個人情報だからといわれるが、台風の自主避難があった際、行政からお願いしますと渡されても、名簿だけでどうしていいかもわからない。名簿を渡す時にその先のことについてアドバイスをいただきたい。防災における男女共同参画の場合はそこまで言うていただきたい。

会長 ほかにないか。

委員 乳がんと子宮がんの検診を毎年受けているが、はがき、封書で来る。市のホームページで希望日が取れるという告知がもっとあると、気軽に申し込めるのではないかと思った。ぜひ、皆さんに受けてほしいと思う。

会長 他にないか。

事務局 今回の改訂第 2 次プランはこの形で調査させていただいているが、担当が、なぜできなかったのかということに記載したり、実績等も入れながら評価できる形を入れるなど、これからの検討の際の参考にさせていただきたい。
数値目標は計画をつくっている担当側からいうと、一番難しくて数値化しづらい部分もある。たとえば、DV の相談件数は、相談件数が上がるということは、それだけ相談に来てくれたというとり方もあるが、DV が増えているということになる。相談件数は減っていくほうがいいが、窓口が開設している以上、相談件数は多いほうがいい。そういうジレンマもありなかなか評価はむずかしい。

会長 感想を少し述べさせていただく。市役所の中の目標と市民向けの目標が少し混在している。資料の中に浦安市目標と市民目標が全部混在していて、どちら向けの指標なのかかわりにくかったところがあった。市役所の中の目標ということであると、男性の育児休業というのが極めて数値がかい離しているという意見があった。その原因究明というのは必要である。
もうひとつ、ジェンダー統計という面でいうと、男女共同参画を比較するときは、その男性の育児休業を調べるならやはり女性の育児休業も知りたい。もう 1 点が

市民向けのほうであるが、非常に気になったのが、子宮がんと乳がんのところである。さきほど他の委員から意見があったように、数字の出し方で、会社で受けている人がいたり、これが市民の数値かどうかというのはとらえられてないという可能性もある。男性もこのような検診もあるか。

委 員 ある。

会 長 男性の検診の受診率も男女共同参画で比較してみて、女性が極めて受診率が低かったら、男女間の格差があるといえるのではないか。
他にないか。
次に議題に2に入る。事務局からご説明をお願いします。

(事務局説明)

・事務局により、令和元年度男女共同参画センター事業結果について説明が行われた。

会 長 なにか意見などないか。

委 員 1 ページ目の講演会講座について、定員に満たないものがあるが原因は何か。

事務局 ヒューマンフェスタうらやすの講演会は、今回、ハンセン病をテーマにしており、このため、専門的かつ興味のある方は来るが、興味のない方は来ないということになる。ただ、ハンセン病のテーマだから来たという意見もあった。テーマ設定には毎年苦勞している。今後の課題は、より若年層にも興味をもってもらえるようなテーマ設定で、より人権、男女共同参画について考える機会を提供できたらと考えている。

委 員 定員が少なかったからもう少し増やしましょう、もっとうる講座を開いたほうが良いというような意見交換があったのか。

委 員 音楽ホールの定員が200名、参加したのが103名では少ないのではないかと
なるが、実際は参加人数である。

委 員 このテーマで半分埋まるのはけっこうすごい。

委 員 そういう見方もある。

委員 私も誘われたので行ったが、参加すれば勉強になる。ただ、広く知られてないというのが事実だと思うが。

委員 どのように周知しているのか。

委員 顔写真入りのポスター・チラシを作っている。

委員 P-Life は年に2回発行だが、各小中学校にも配っているのか。

事務局 新聞折り込み、そのほか公共施設に置いてある。

委員 消費生活センターも情報紙を発行しているが、発行した時に自治会連合会の会議で顔を出してお願いしている。P-Life も発行するときは会議でPRしてみたらどうか。

会長 PRと集客の方法について意見がでた。テーマの内容についてはどうか。

事務局 毎年定期的に講座を行っている。皆さんの関心があるテーマとか、男女共同参画、人権に係るものということで、いろいろ考えながら行っているのでご意見があればいただきたい。他の市町村のセンター同士の会議の中でも情報共有も行っている。テーマもインターネットネット、HPなど見ながら多くの方に来ていただけるような講座をと思っているが、定員まで人数が集まらない。「男女共同参画推進講座」は関心のある方が多くて定員以上に応募があったが、当日欠席した方もいる。「ヒューマンフェスタうらやす」の場合も200人定員で参加者103人であるが、実際の申し込みはもっと多くいた。当日来なかった方もいたし、逆に当日予約なしで来た方もいる状況である。

委員 テーマの連続性であるとか、単発で終わらないように、興味のある方については2回3回と。参加者がアンケートを書く時間を設けたりするとか必要である。

事務局 講座はすべてアンケートをお願いしている。3番から7番についてももちろんそうであるし、男女共同参画推進講座でも、今後こういうことをやっていきたいという話を聞きながら、次回に生かせるようにしているところである。

会長 私から報告する。2番を担当させていただいたが、アンケートを見ると、非常に皆さん熱心で、梓からはみ出るくらいまでさまざまなコメントいただいた。男女

共同参画センターと共有しながらまた次回につないでいきたいと思っている。10番については、市の職員研修をはじめてさせていただいたが、この研修について報告する。各部署から1人ずつ、特に若手の職員が参加して、非常に熱心に取り組まれていた。少し語弊があるかもしれないが、民間企業より非常に男女共同参画が進んでいる印象を持ったが、男性の育児休業が非常に低い数字だというのが研修の様子と比較すると不思議に思った。その中でプランの冊子を使ったワークを行ったが、各部署に1冊ずつ配布されているということであつたが、プランの冊子を見たことがない方が多かつた。組織なので仕方がないと思うが、可能であれば一人1冊あればよいとの感想を持った。

委員 2点質問よろしいか。

ルピナスセミナーとルピナスゼミとはどのように違うか。

事務局 ルピナスというのは男女共同参画センターの愛称である。男女共同参画センターを知っていただくということで、ルピナスセミナーという名前をつけている。ルピナスセミナーとルピナスゼミとわけているのは、ルピナスセミナーについては広くいろいろなテーマを設けながら開催しているが、ゼミに関しては、ワークを取り入れながら、定員も10人程度と少なくして、勉強会も兼ね意見交換をしながら開催している。

委員 10番が54人で少ないようだが。

事務局 開催日が月曜日だった。月曜日は施設の部署の休みが多く、今後、曜日についての設定を変えようという提案があつた。

委員 配っていただいたカードは女子トイレに置いてあるということだが、気に入らないとすぐキレる、ケータイにでないと怒る、SNSで行動をチェックする、男性が女性に行くという感覚で女子トイレに置いてある。いまどきは逆もあるのではないか。女子トイレに限定するのではなく、男子トイレでもいいのではないかと。それを男性が見ることで、気に入らないとキレる等、それがDVとっていない人も多いと思う。女性用のトイレとか女性だけがいる施設だけでなく、男性も目につくところにも置いてもらってもいい。

事務局 女性のトイレにということで、市役所はもちろん、公共施設、商業施設等に置かせていただいているのが現状である。

デートDVカードは、各中学校の保健室を通して渡していただけるよう設置して

いる。やはり、男の子からではなくて女の子からの DV、デート DV の相談的なものも増えてきているということも聞いているので、今後、公共施設の男性用トイレにも置いていけるよう対応していきたい。

会 長 実際、カードを見て相談にくるのか。

事務局 ちょっとかわいいからということで、駅前のトイレはもらっていく方が多い。実際にこのカードを見てということはない。青少年センターでも相談ができるので、つながっていくことができればと思っている。

委 員 養護教諭に相談に行くというようなことはある。ただ、このカードの使い方が被害を受けて困ったことがあるというものなので、広く啓蒙するという意味ならば、全生徒に配ったほうがいいのかと思う。

会 長 気づきを与えていただいた。

委 員 社会の授業でも人権のいろいろな問題について勉強する中の一つにしたほうがよいのではないかという気がする。

委 員 私自身、このようなセミナーや講座をしているということは今知ったようなレベル感である。対象者としては、市民のみなさん、在住、在勤、在学ということで、広く門は開かれている。その中で、講座があるということのをなぜ認知しなかったのだろう、知らなかったのだろうと考えたとき、新聞をとっていないし、やはりネットが身近であると思っている。ターゲットをしっかりと掘り下げ受け入れベースを含めて、そういうところに掲示ができたらいと思う。やはり開催の日には、曜日、時間、ターゲットを分析したうえで、それに合わせた広告とか、アピールをするといいと改めて思った。

委 員 浦安市のツイッターがある。地震の時に浦安市のツイッターをフォローするようになった。ツイッターとか、そういうツールを使っての情報発信もいいのではないかと考えている。若い人はそれこそ HP までもツイッターで見るようなので、使うのもよいのではないか。

委 員 ルピナスのラインを少し広げるとかそういうのもよいのかもしれない。

委 員 「乳がん検診、あと 3 か月」みたいな感じで。「お申し込みなら今」みたいなこと

があるといいと思う。

会 長 ほかによろしいか。なければ本日の議題は以上である。
次に事務連絡について、事務局に願います。

事務局 今年度の男女共同参画推進会議は今日が最後になる。令和2年度はプランの策定に向けての準備が始まるのでご協力をお願いしたい。
HP 等にも掲載しているが、現在千葉県男女共同参画地域推進委員を募集している。ご興味のある方、また、お友達、お知り合いの方にもぜひ周知していただき、応募をお願いしたい。事務局からは以上である。

会 長 来年度は新しいプランの策定に向けての準備が始まるということでさらに忙しくなると思われるが、皆様には4月以降もご協力をお願いしたい。事務局に願います。本日の議論をもとにこういう論点で資料を見てきてほしい、ここについてご意見を頂戴いただきたいので見てきてほしい、などより細かい説明があると議事が混乱化しないのではないかと思います。今年度の会議はこれで終了とする。

以上